

## イエス様の真の系図(ルカ 3:23、34-38)

みなが幸せになろうともがいて頑張っています。しかし、それでしあわせになるわけではありません。人が本当に幸せになることは、イエス様のことを正しく知るところからスタートします。そして、イエス様を正しく知ると、真の答えの門が開かれるようになります。なので、信者の私たちはさまざまな問題や課題があり、また自分なりのいろいろな願いがあり、また何か疑問等があるかもしれませんが、その前でそれに囚われることなく、イエス様を正しく知ることによってフォーカスを合わせるようにしなければなりません。それが正解です。イエス様を正しく知ることによってフォーカスを合わせると、問題や課題、願い、またさまざまな疑問に対して正しい答えが得られることになり、また正しく導かれることになるからなのです。そのイエス様のことを正しく知るための大切な根拠の一つがイエス様の系図です。今日お読みしましたところには、イエス様が誰からどのような家系から生まれてきたのかという系図の紹介があり、マタイの福音書とはまた違う部分があります。マタイの福音書はアブラハムから始まります。しかし、ルカの福音書はヨセフから遡っていき、アダムまで上って行ってアダムに終わらないで、神の方まで上っていく、そのイエス様の系図が紹介されています。一番最初、お読みしました 23 節にも、人々はヨセフの子と書いていたとスタートしています。

### 1. 人々が知っている通りにイエス様を知ると失敗する。

なので、まず第一に、イエス様のことを人々が知っているとおりに理解すると、その人生は失敗になってしまいます。人々はイエス様のことをヨセフの子だと思っていました。それは間違いではありませんけれども、正解でもありません。なぜヨセフの子と書いていたのでしょうか。本当にヨセフの方なのでしょうか。マリヤとヨセフと一緒に寝てそこから生まれたのでしょうか。一緒に寝たこともないのに、聖霊の力によってイエス様はお生まれになりました。

#### 1) 人間的(肉)な姿だけで

そういうことをまったく知らないで、ただ見える人間的な姿、肉体的な条件だけでイエス様のことを見て理解しようとする、そのように映ることになります。それでイエス様のことを勝手に解釈して、幸せな人生、本当に答えの門が開かれる人生とはかけ離れた滅びの人生を歩むようになるしかありません。

#### 2) 世界四大聖人

世界中で、また皆さんが学校で勉強している教科書には、イエス様のことを世界四大聖人の一人と紹介しているかもしれません。彼らの目で彼らの水準で見ると、そのように見えるかもしれません。しかし、それは人間的な部分、肉体的な条件だけでイエス様を見たからなのです。

#### 3) 宗教の創始者

また、その四大聖人の一人というお話の中には、イエス様はキリスト教という宗教を作られた、宗教の創始者なんだという意味もそこにはあります。イエス様のことをキリスト教を作られた宗教の創始者と理解すると、それは大きな間違いなのです。

#### 4) イスラエルのメシヤ

それから 34 節を見ますと、ヤコブの子、イサクの子、アブラハムの子と紹介されています。アブラハムの子、ヤコブをイスラエルと呼ぶようになりました。それでイスラエルという民族、国が誕生することになります。イスラエルの人々は、イエス様のことを間違えて理解している人がほとんどだったのですが、せいぜい理解しようとしてもイスラエルのメシヤと理解していたのです。アブラハムの子孫ではないのか。イスラエル人ではないのか。間違いではありませんが、正解でもありません。全部が人間的な姿、肉体的な条件だけでイエス様のことを見ているから、そのように見ることになってしまいます。

#### 5) 既存の秩序の破壊者(革命家)

また、ほかの人々は、イエス様のことを既存の秩序を破壊するものだと見ていました。特にパリサイ人と律法学者などはそういう目で見えていました。今までの律法の解釈や宗教の形式、守ってきた伝統などに対して、真逆のことをおっしゃってそれをすべて壊して行くような行動をなさっていたので、パリサイ人や律法学者たちはイエス様のことを既存の秩序を破壊する者、良い言葉で言うと革命家、という目で見えていたわけです。クリスチャンの中でもイエス様のことをそういう目でみる人が少なくありません。

#### 6) 正義の使者

それでこのようなやぐらのようなものが教会の中にも入り込んで、また信者も昔はそのようなやぐらを持って生きて来た者なので、そのやぐらがそのまま残って教会の中でもイエス様のことをバプテスマのヨハネのように、つまり正義の使者のように理解する場合があります。イエス様にそのような面がないわけではありませんが、イエス様のことを正義の使者のように理解すると、その人に答えの門が開かれませんが、暗闇のこの世に光を照らして、人のたましいを本当に生かす人生には繋がらないのです。

#### 7) 博愛の天使

また、教会の中でもイエス様のことを古きやぐらのままでの目で見ているので、エレミヤのように、つまり博愛の天使のようにイエス様を理解する場合があります。

#### 8) 超能力のヒーロー

また、自分の力の限界、人間の限界等々を経験するようになりますので、それを超越する何かの力がほしいという願いのもとで、イエス様のことをエリアのように、つまり超能力のヒーロー扱いをする場合があります。

#### 9) 立派な教師

またイエス様のことを預言者の一人だと理解して、立派な教えをしている教師として見る場合があります。もちろんイエス様は私たちに教えを与えられました。しかし、イエス様は人々が思っている立派な教師、預言者の一人ではありません。

#### 10) 願い成就の神

これもあれもすべてがダメなので、もともと持っていた創世記3章、6章、11章の自分、肉、この世中心のやぐらのまま、イエス様のことを自分の願いを成就するための神と理解して、教会の中でもごりやくの神としてイエス様のことを扱う場合も少なくありません。そのような願い、そういう祈りによって、何か叶えられるかのような経験をする場合もあります。それは神社に行ってお願ひする人も何かの願ひのためにお祈りをするのと一緒で、それは日本の習慣、文化なのです。そういうことのためにパワースポットが観光地になっているのです。韓国もシャーマンの文化が根強くある国には間違いありませんが、パワースポットの観光地というのはまだまだそこまではいっていません。しかも問題なのは、マスコミを通してそれが偽善と当たり前な、みなが共有しても大丈夫のように扱う。また、占いもマスコミで堂々と取り上げて扱っている、そういう文化の国なのです。それに慣れていて、そういう人々がクリスチャンになったときにも、そのやぐらのまま、願い成就の神として、ごりやくの神としてイエス様のことを扱うことがあります。そうである限りは、真の幸せを経験することは無理だし、真の答えの人生は程遠いだけの教会生活を送ることになります。そのただの教会生活というのは、言葉を変えますと、言葉はキリスト教会でしょうが、宗教と全く同じ宗教生活、偶像崇拜と何も変わらないという次元の信仰生活をせざるを得なくなります。イエス様のことを人々が知っているとおりに知るといことは、自分の頭で理解するには理解しやすいかも知れません。みながその範疇の中でのお話なので、目に見えるものを中心にして、肉体的な条件を根拠にして訴えることなので理解しやすいのです。だからすぐにはまっていくようになります。しかし、イエス様はそういう方ではありません。今日の聖書の箇所を見ますと、イエス様の系図の中で、アブラハムで終わらないで、アブラハムの上の上まで行ってアダムまで行きました。というのはイスラエルのメシヤでもなく、全人類のための方という意味がそこにはあるし、異邦人、白人、黒人などの区別は全部なくなるわけです。しかも、そこにとどまらないで、アダムの上に、その上は神であったと。そこまではイエス様の真の系図なのです。

## 2. イエス様を神の御子キリストと告白すると勝利する。

第二です。イエス様を神の御子キリストと告白するときに、その人の人生は真の幸せな者になり、真の答えの門が開かれて、真の勝利の人生を歩むようになります。ぜひ皆さんがその主人公であることを覚えて感謝して改めていただきましょう。

### 1) イエス様の系図(38)

イエス様の系図は、ヨハネから生まれたのでヨハネの子、ではありません。アブラハムの系図のアブラハムの子孫ではありますが、アブラハムの子孫でもありません。アダムの子孫で間違いありませんが、アダムの子孫ではありません。イエスは生ける神の御子キリストなのです。なのになぜ人々はイエス様のことを勝手に自分のレベルで自分の水準でそのように理解しようとしているのでしょうか。それは人々は死んでも悟ることができないことなのでしょうが、人間の本当の問題が何か分かっていないのでフォーカスがすべて肉の条件の方に行くしかありません。私たちにはさまざまな問題があります。ある人はアルコール中毒、ゲームの中毒、何かの依存症になる場合があります。本当にその依存症が問題なのでしょう。また麻薬に溺れる場合もあります。その麻薬中毒が問題なのでしょう。パニック障害や鬱、躁鬱、精神的ないろいろなトラブルなどがあります。その精神的な疾患そのものが、本当に本当に問題なのでしょう。ある人はギャンブルにはまってなかなか抜け出せない場合もあります。そのギャンブルにはまってしまうことが問題なのでしょう。理由が何かわかりませんが、夜よく眠れない不眠症に悩む人が少なくありません。今朝、柳先生もおっしゃいましたが、どこかの日本の新聞を見ましたら、日本人の80%以上が不安症を抱えていて、人の目をちゃんと見ることができないという記事を見たようです。たぶん十年前の記事なのかなと思いますが。そのような問題を抱えて生きています。それが本当に問題なのでしょう。私たちはいまま少し目立つひどい問題を取り上げてみましたが、私たちはさまざまな問題、課題を抱えています。人が見て分かるような問題もあるし、また自分でうまくごまかして隠してそれが目立たないようにしている。しかし、本人にはそれがすごい悩みになる、そういう問題も抱えて生きています。人には言えない悩みもたくさんあるのではないのでしょうか。それが本当に問題なのです。親に虐待される場合もあります。親が私を捨てた場合もあります。学校でいじめられる場合もあります。そういうことがあってはいけないうえ、それが問題だと思っていて、その問題に囚われるとその問題を解決しないといけないので、問題の解決のために努力してもがくようになります。あるいはそれがうまくいかないときには諦めるようになります。努力するか、諦めるかしか正解はありません。しかし、いくら努力してもがいて、暴いてもその問題は解決になりません。また、表面的に解決になったとしても、それが本当に解決なのでしょう。何が本当の問題なのでしょう。依存症でもなく、不眠症でもなく、本当の問題は神のかたちに造られた人間が、そのいのちの根源である神様を離れてしまったことが問題であり、そこから始まりました。霊的な問題が問題であり、言葉を変えますと、悪魔のしわざこそが問題なのです。なぜ皆さんが過去のことで心の傷を抱えて、トラウマを抱えて、なかなかそこから自由にならないのでしょうか。問題を間違えて理解しているからです。私たちが問題だと思っている、それが問題ではありません。何かを合理化したり、正当化するつもりはありません。しかし、それが問題だと思ってる限りは、問題の解決のための努力か諦めるかしか道はありません。しかし、問題は私たちが問題だと思っている、それが問題ではありません。霊的な問題なのです。根本的に解決不可能な問題です。悪魔のしわざなのです。だからキリストの他には解決の道も方法もない、そういう問題なのです。努力しても問題の解決には至りません。だから、努力しなくてもよいし、努力してはいけません。これが問題なのです。キリストのほかには解決の方法がありません。そして、感謝のことにイエス・キリストの系図から教えられることは、そのキリストが実際に来られてその問題を解決なさいました。キリストのみ解決があります。解決できる、できないということで悩んだり判断したりしてはいけません。どうせ解決できないものなのです。諦めなければいけません。キリストだけが解決できるのです。キリストが解決されました。それが私たちに与えられること以外に解決ありません。こちらの方に解決の方法や道しるべ、道はどこにもありません。自分の問題もアルコール依存症の人の問題も。平和な家庭で過ごしているかのように映っている友だちがうらやましいなあと、うちの家庭はなんでこうなのかと思っているそういう思いは終わりにしなければなりません。いくらもがいても解決にならないし、疲れるだけなのです。なぜなのでしょう。最初から解決不可能な問題です。だからキリストのほかには道はないし、神様はキリストを約束されました。イエス様の系図

は、イエス様こそ、その唯一の解決キリストなんだということを私に示しています。だからイエス様のことをキリストとして、キリストとしての役割を全うすることができるのは、罪のない神様ご自身しかできないのです。だからイエス様はそれが可能な神の御子キリストなのです。それがイエス様なのです。神様はこのような私たちの問題、事情をよくご存知なので、最初から解決しなさいとか頑張りなさい、努力しなさい、諦めなさいと一度もおっしゃったことはありません。

## 2) 創世記 3:15

最初から、だから女の子孫が生まれて蛇の頭を踏み砕くよ。蛇の頭を踏み砕くキリストの他には希望はありません。なぜ女の子孫でしょうか。昔はアダムの子孫、男の子孫という表記をしていました。しかし、イエス様ことだけ、これから来られるキリストのことだけ女の子孫、つまり神様ご自身なんだという意味なのです。蛇の頭、悪魔の頭を踏み砕くキリストとして世に来られました。

## 3) 出エジプト 3:18

出エジプト 3:18、私たちにはどうにもならない罪を代わりに背負って犠牲のいけにえとなって、私たちの罪を完全に滅ぼしてしまうキリストなのです。そのキリストのほかには希望はありません。

## 4) イザヤ 7:14

イザヤ 7:14、処女が身ごもって子ども産むよ。その名をインマヌエルと言いなさい。その意味は神が私たちとともにおられる。すべてが神様を離れたところから始まった問題なので、私たちに必要なのは神様と一緒にすることなのです。インマヌエル、神様と一緒にすることができる、神様と出会える道キリスト。イエス様はそのキリストなのです。今までイエス様に対して皆さんが何を言われていたのか、自分で勝手にどういうふうか思っていたのか、またどういうイメージを持っていたのか。理論的には聞いていても、本当に本音の中ではキリストをگریやくとしてイエス様のことを思っていなかったか。自分なりにどう思っていたのかを吟味してください。そのすべてが間違いなのです。そこには答えも勝利の人生も何もありません。特に皆さんが一番悩んでいる問題の解決にはまったく関係ありません。イエス様は神の御子キリストなのです。蛇の頭を踏み砕き、悪魔をしわざを打ち壊すキリストであり、犠牲のいけにえとなるキリストであり、インマヌエルのキリストなのです。これが可能なのはイエス様自身が神様ご自身だったからです。

## 5) ヨハネ 1:1、14

ヨハネ 1:1には、初めにことばがあった。ことばは神であった。14節、神が人となってこの世に来られた。神様ご自身なのです。イエス様はアダムの子孫で間違いありませんが、アダムの子孫ではありません。これがイエス様のことを正しく理解することなのです。人間として来られたので、人間の問題、皆さんの問題、皆さんが悩んでいる、引っ掛かっている、どうしても抜け出せないその問題の解決のために来られたので、人間として来られました。アダムの子孫に間違いありません。しかし、私たちとは違います。私たちの問題の解決のために来られたのが神様ご自身なのです。アダムの上に神であったと。これがイエス様の系図から示されることなのです。だからイエス様は実際にキリストとしての仕事を全うされました。

## 6) I ヨハネ 3:8、ヘブル 9:12、10:19-20

I ヨハネ 3:8、神の子が現れたのは、悪魔のしわざを打ち壊すためです。私たちのすべての問題の根源は悪魔のしわざなのです。これを知らない限り、誰かのせい、何かのせい、これが大事、あれが大事、何かを頑固に守り続ける、主張するもの、誇りに思うもの、自慢するものなどが以前としてやぐらとして残るのですが、本当にイエス様が神の御子キリストだと告白できる者は、そういったものが全部崩れ去っていきます。何が自慢でしょうか。それが私たちの問題に役に立つと思いますか。何を誇りに思っているのでしょうか。何がそんなに傷なのでしょう。何が誰かの何かのせいなのでしょう。そのことがなかったら、皆さんは幸せになったと思いますか。皆さんの問題が変わったと思いますか。それが勘違いなのです。だから Only キリストにならないのです。イエスは神の御子キリストなのです。悪魔のしわざをうちこわ打ち壊して、ヘブル 9:12には、「また、雄やぎと子牛の血によってではなく、ご自分

の血によって、ただ一度だけ聖所に入り、永遠の贖いを成し遂げられました」。イエスはキリストとしての仕事を全うされました。それで 10：19-20 を見ますと、「こういうわけで、兄弟たち。私たちはイエスの血によって大胆に聖所に入ることができます。イエスはご自分の肉体という垂れ幕を通して、私たちのために、この新しい生ける道を開いてくださいました」。悪魔のしわざを打ち壊して、すべての罪をあがない、神に向かうことができる新しい生きる道を設けられたキリストとしての仕事を完璧に全うされました。

#### 7) ヨハネ 19:30

それを本当に完全にすべて完璧に終えられたということで十字架の上でイエス様は宣言されます。神の御子キリストだからこそ、すべてを完了したと。イエス様は神の御子キリストなのです。そして神の御子としてキリストの仕事を完璧に全うされました。なので、私たちに残っていることは一つだけです。

#### 8) マタイ 16:16

イエス様のことを生ける神の御子キリストです。ペテロがその意味がわかっていたのかどうかはわかりませんが、イエス様が驚くほど地球上、最初の告白をしました。ダビデやアブラハムは来られるイエス様に向かって信仰告白をしていましたが、実際に世に来られた神の御子として世に来られたキリストに向かって告白したのはペテロが最初なのです。主は生ける神の御子キリストです。そのときすべての暗闇が砕かれて、天が開かれて、祝福が注がれるようになりました。イエスは神の御子キリストです。人間は絶対解決不可能です。努力しても無駄だし、疲れることしかない人の問題を完璧に解決された唯一の救い主キリストなのです。悪魔のしわざを打ち壊された唯一のキリストなのです。いのちが得られる唯一のキリスト。地獄とわざわいと呪いの人生が終わる唯一の真の祭司です。イエスはいく生ける神の御子キリストです。そして、それをすべて完了なさいました。なので、私たちが問題の解決のためにやるべきことは一つしかありません。

#### 9) ヨハネ 1:12、ローマ 8:2、Ⅰコリント 3:16、Ⅱコリント 5:17

「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとなる特権をお与えになった」。信じる以外に何もありません。そのすべてをなさった神の御子キリストを受け入れることが問題の解決なのです。キリストが問題の解決なので、なさったので、それをそのままただだけなのです。先週も申し上げましたように、この世にはそのような法則は存在しません。何かと照らし合わせて考えようとする間違いなのです。聖書が私たちに勧めている信仰の法則はこの世、宇宙には存在しません。キリストにあって新しく始まった法則です。ただ問題の解決のために今までもがいて悩んで努力していた、それを全部諦めて捨てないといけません。そこに問題の解決はありません。どのような問題を抱えていらっしゃるのでしょうか。キリストだけがあなたの問題の解決なのです。キリストがすべてを完了なされたので、自分の問題がしつこいのか大きいのか古いのか等々一切気にしないで、今まで気にしていたすべてを切り離して、ただ問題の解決はキリストだけなので、キリストが完了したことを信じて見上げてそのキリストだけに向かうように。キリストをただ受け入れることであなたの問題は終わりなのです。義人は信仰によって生きる。今まで私たちの内側にあった宗教のやぐら、因果応報のやぐら等々によって邪魔されるでしょう。それを全部壊してください。人の本当の問題が何かを認めれば全部砕かれます。本当に認めれば、悩んでもしょうがありません。努力しても解決できません。いくら頑張っても変わりません。これを認めない限りはスタートになりません。幸いなことに神様は私たちをその信仰の畑の方に導いていらっしゃるのです。「受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとなる特権をお与えになった」。ただ受け入れただけなのに。ローマ 8：2 を見ますと、今まで絶対出られなかった滅びの運命から、絶対解決できないその問題から、死と罪の原理からいのちと御霊の原理によって永遠に解放されます。いつでしょうか。本当にキリストだけが問題の解決であり、すべてを完了なされたことを信じて、その解決をありのまま受け入れるときに。今まで解決のためにこだわっていた、悩んでいた、努力していた、諦めていた、悲しんでいた、そのすべてを全部悔い改めて捨てて、間違いでした。知りませんでした。それが悔い改めなのです。キリストのほかには希望がないことに気づいていませんでした。悪魔の誘い込む霊の力によって思いをくらませた悪魔のしわざによって気づきませんでした。やっと分かりました。すべて捨てます。何がこだわりなのでしょう。クリスチャンにはこだわりなどありません。もちろん

ん、必要なこだわりがあるかもしれません。でも、そのこだわりの中で絶対というこだわりがあってははいけません。それはまだキリストが分かっていないことなのです。どんな絶対的なこだわりが私たちには存在し得るのでしょうか。とんでもありません。すべて悪魔の偽りなのです。皆さんがまず癒されて変わることが神様の願いなのです。皆さんの現場に周りに皆さんを通して暗闇の勢力が砕かれて、いのちの救いに預かるような人がたくさんいるけれども、皆さんが変わらないと。なぜ変わらないのでしょうか。主は生ける神の御子キリストですという告白が本当の告白になっていないからです。なぜなっていないのでしょうか。いまだにお母さんが問題。あの人間が問題。自分が問題。その事件が問題。この環境が、制度が、いじめが、何か問題、問題、問題...。そうしている限りは悪魔は離れることなどありません。なぜでしょうか。キリストにならないから。悪魔はキリストのほかには怖がるものが一つもありません。全部利用するのです。皆さんが主は生ける神の御子キリストと告白して、そのキリストをただ受け入れるだけで、その瞬間、目に見えないけれどもあなたがたは、聖霊が宿っている神の神殿であることを分かっていないのか。神様から離れ、悪魔に支配され、引きずり回されていた自分の内側に、三位一体の神様が臨まれまして住まわれることとなります。存在そのものが、人生そのものがガラリと変わることとなります。だから、誰でもキリストの内にあるものは、古いものは過ぎ去って、すべてが新しくなったと宣言するわけです。何を通してでしょうか。ただキリストを受け入れただけなのになぜそうなるのでしょうか。イエスがキリストだからです。他に理由はありません。そのときから私たちの人生の生き方が変わります。今までは何を食べるか飲むか、この問題があるのですがどうしたらいいのでしょうか。どうしたら、どうしたら、どうしたらからあなたがたは知らなくてもいいよ。なぜなのでしょう。イエスはキリストですから。あなたがたは神の神殿なので、すべてが終わったのだから違うよ。知らなくてもいいよ。Only 聖霊が臨まれると、あなたがたには聖霊が臨まれる特権がある。そういう身分に変えられています。御座の祝福が臨まれる存在に変えられているのだよ。いちいち私にできるかできないか、お金があるかないか、才能があるかないかと他の人と比較することもいりません。

先週も申し上げましたように、そういう意味で私たちはお金がなくて、能力もなくて、バックグラウンドもなくて、人脈もなくて、頭も良くなくても、それがむしろ感謝なのです。そういう条件などによってできることではありません。人生の勝利はただ聖霊の力によって。聖霊に満たされる人だけが勝利できるのです。クリスチャンはそれが可能に変えられた存在です。それがクリスチャンです。嘘をついていた者が正直な者になった。それは宗教にもあります。クリスチャンはそういう点を強調するところではありません。唯一いまだに植民地なのに、いまだに貧乏な状態、いまだに社会的に阻害され指さされる立場は何も変わらないのに違うのです。聖霊が臨まれ、聖霊に満たされる、御座の祝福に満たされることが出来る存在です。これがクリスチャンです。まだ性格も変わっていないかもしれません。いろいろな問題、課題あるかもしれません。皆さんも周りの信者を勝手に評価してはいけません。しかし、その人がキリストを告白することに間違いなければ、その人には聖霊の豊かな満たしの約束があるのです。それがクリスチャンなのです。正しい人がクリスチャンではなくて。私たちには知らないうちに現状維持を好むやぐらがあります。裏返しますと、変化を好まないやぐらというものが内側に入っているのです。この小さな教会にいきなり新しい人が30人ぐらい入ったとすれば、皆さん席も無いかもしれません。床に座るかもしれません。そんなのはいやだ。だからこのままでいいよ。それは罪なのです。でも私たちにはそれがいつの間にか出来上がっています。しかも新しい人は知らないし、日本人は人と付き合うためには3年以上ちゃんと把握しないといけないので、いきなり新しい人が来て、しかも多民族が来た場合には、文化も言葉も違うし、肌も違うし、変な人間も来るかもしれません。病気の人もあるかもしれません。もういやだー。もしかして私たちにはそのようなやぐらが据えられているのではないのでしょうか。全部壊さないといけません。今の現状を乱すようなことがあればもう耐えられない、それこそが創世記3章なのです。なぜ自分なのでしょう。神様、神の願い、キリストにしっかり焦点を合わせて、いかなるクリスチャンでもクリスチャンに間違いなければ、どういう問題を抱えていても、その人はキリストが血を流して買い取られた者であり、聖霊の約束があります。これがクリスチャンの特徴です。クリスチャンに対してのイメージを全部ガラリと変えてください。日本のほとんど教会のクリスチャンのイメージは、静かで丁寧でマナーは正しく。もちろんそういうものは常識的にしっかりやらないといけません。それに引っかけられて福音を伝える機会を逃してはいけないから。しかし、それが本質ではありません。クリスチャンとは何でしょうか。神の恵みによってキリストのいのちが与えられ、これから聖霊に満たされて、地の果てのまでイエスの証

人となる。これがクリスチャンです。他の何かに惑わされることのないように。そのためにイエス様のことを間違っ理解していると困ります。イエス様は誰がなんと言おうが、神の御子キリストなのです。

#### 10) 使徒 1:7-8

だから結論として私たちに残るのは、知らなくてもいいよ。聖霊が臨まれると、あなたがいるそこから、今まで絶対ここではダメと思っていたそこから、いのちの運動が行われて地の果てにまで。この三郷の小さな教会で何が出来るか。ここからです。皆さんが皆さんの現場において、絶対不可能だと思われていたその現場において、何もかも全部捨てて Only 聖霊を祈り、いのちの運動が行われることを体験すれば人生変わります。何もかも全部変わります。未来のことも。過去のことも。現在の何かを見る目も。自分の仕事も結婚も全部見方が変わります。人生の残りの生涯、全部が答えに見えてくるのです。それを私たちに約束していらっしやるから、どうすればいいのでしょうか。契約として握って信じればよいのです。信じる人は祈るでしょう。皆さんがこの教会がその祝福に預かるようになれば、47 都道府県を助けることができるし、5000 未伝道種族も助けることができますようになります。聖書にある通りになります。地の果てにまで。なのに、私たちの器が「いやだ、もう…」になっていては困ります。大きくしないとイケません。もともとあった器を全部壊さないといけません。誰が来てもオッケー。どんどん来てください。でもそれを嫌だと思っているから神様が人を送りません。いやだと思っているから。伝道学校に 30 人くらいが来てもびっくりしてみな逃げちゃうのです。何がそんなに怖いのでしょうか。

今日のメッセージを聞いて、私はイエス様のことをどのように信じているのかを吟味しましょう。その前に、自分の本当の問題は何だと思っているのか、それを吟味しましょう。これだけでも充分なのです。ここを深く素直に吟味しないまま次に次に行くからメッセージが空回りするのです。皆さんの答えの人生、勝利の人生のスタートは、皆さんが自分でもびっくりするほどの神の国のことが現れるそのスタートは、ここからなのです。主は生ける神の御子キリストです。そのためには問題が何かを認めない限りは、誰かのせい、何かのせい、心の傷...全部サタンの作品、嘘なのです。嘘なのです。何も気にしないように。

それを吟味して主は生ける神の御子キリストですと告白して、その告白の中にあるイエス様の祝福のことばに耳を傾けましょう。イエス様はペテロに言いました。あなたはこれからペテロなんだ。この岩の上に。この信仰告白は誰も奪うことができない永遠のいのちなのです。安心してください。ちゃんと履いてますよ^^。永遠のいのちなのです。なので、その岩の上にわたしの教会を建てます。皆さんがそれに本当に素直に反応すれば、認めていけば、皆さんを通していのちの運動が行われます。これが祝福です。それに伴ってハデスの門も打ち勝つことができない。この私たちの祝福の道を邪魔できるものは存在しません。私たちは必ず勝つようになります。それが祝福なのです。そして、岩の上に教会を建てる、暗闇の力を打ち砕く、その真の価値ある道を歩むために天の御国の鍵が与えられ、つまり御座の祝福が注がれる、祈りが祝福が与えられます。主は生ける神の御子キリストと告白している者に、この祝福が宣言されていることを覚えて、しかし、先ほども申し上げましたように、これが私たちのものなのに、先に入っている私たちの考え、間違っている考えがそれを邪魔するわけです。それを素直に認めて、ここまで正しく祝福を確認できていけば、それを邪魔する自分の考えに御座の祝福が臨まれまして、要塞を破る力が働いて考えを虜にしてキリストに服従させる癒しの働きがなされるように、考えの刻印が変わるように祈りましょう。祈りましょう。もっと簡単に申し上げると、皆さんがああだ、こうだと考えているのは、キリストと関係なく古きやぐらによって考え出すものなのです。それが暗闇なのです。そこに光が照らされて暗闇が去っていき、神の考えが皆さんの考えになるように。考え方が、考えの刻印が変わることが一番大切です。その考えが脳につながり、それがたましいにつながり、人生全体につながることであります。それを祈りましょう。なぜなら私たちは生ける神の御子キリストを告白して、天の御国の鍵を持っている幸いな者、地の果てにまでイエスの証人となる者なので、その考えが変わらないでこれが邪魔されるというのはなんと悔しいのでしょうか。そういう意味合いを持って祈ってください。柳先生がおっしゃっているように、朝起きて、レムナントは 5 分だけでも御座の祝福が私の考えに豊かに臨まれますように。私が気づいている考え、気づいていない考えでも、古きものが砕かれてサタンやぐらが砕かれるように。不信仰のやぐらが砕かれて、信仰のやぐらが。創世記 3、6、11 章、目に見えるものにこだわるやぐらが砕かれて、使徒 1:1、3、8、御座の祝福の契約が豊かに刻まれるように。それを祈ってください。皆さんのも

のなのです。

(祈り)

恵み深い父なる神様。ありがとうございます。約束どおりにキリストが世に来られて、イエス様がキリストとしてすべての働きを全うされて、すべてを完了なさって、私たちはただそのキリストを信じて受け入れることで、自分の人生の過去、現在、未来、悩んでいる知らない問題でさえすべてが解決されていることを感謝申し上げます。その信仰の上に立って御座の祝福を祈り、それを邪魔する考えの刻印が変わることを体験し、自分の内側に神の国が臨まれることを経験し、現場が変わり、5000 未伝道種族が変わり、47 都道府県が変わる、その主人公となるようにひとりひとりを祝福してください。イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。